

PV031

取扱説明書

このたびは、トムズラボの製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。



- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、本取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書は別添付

安全上のご注意

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

■「警告」と「注意」について

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分けして説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性
または重傷を負う可能性が想定される」
内容です



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性
または物的損害が発生する可能性が
想定される」内容です。



警告

分解禁止



分解や改造はしない。
火災や感電の原因になります。
修理および調整は弊社もしくは販売店にご相談ください。

設置



水がかかる場所や湿気の多い場所に設置し
ない。
水の混入により、火災や感電の原因になります。

使用上の注意



バスレフポートに異物を入れない。
火災や感電の原因になります。



注意

設置



不安定な場所や振動する場所、及び棚の上
などの高所には設置しない。
本機が落下して、けがの原因になります。



直射日光の当たる場所や、温度が異常に高
くなる場所（暖房機のそばなど）には設置
しない。
外装の変色・変形や、内部回路への悪影響が生じて、
火災の原因になります。



接続する場合は、アンプの電源を切る。
接続方法は、それぞれの機器の取扱説明書に従ってくだ
さい。

お手入れ



薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装を
ふかない。また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。
キャビネットをお手入れするときは、市販のクリーニ
ングクロス等の柔らかい布で乾拭きするようにしてく
ださい。

移動



移動するときは、アンプの電源スイッチを
切り、全ての接続コードを外す。
必ず実行
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上の注意



電源を入れる前や、再生を始める前には、
アンプの音量を最少にする。
必ず実行
突然大きな音が出て、スピーカーの破損の原因になり
ます。



音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



キャビネットに硬いものを当てない。
割れたり破損したりして、けがの原因になります。



キャッシュカード、定期券など、磁気を利用
したカード類を近づけない。
必ず実行
スピーカーユニットの磁気の影響でカードが使えなく
なることがあります。

各部の名称と機能



①エンクロージャー
陶器製壺形キャビネットと
木製バッフル板

②バスレフポート
低音を増強します

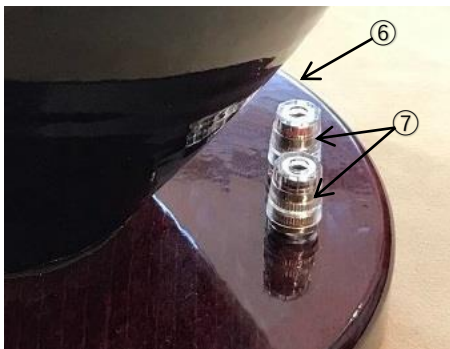
③ディフューザー
音を拡散し空気の流れを制御します

④スピーカーユニット
3インチフルレンジスピー
カー

⑤ポスト
ディフューザーをエンクロウ
ジャーに固定します

⑥スピーカースタ
ンド
スピーカーキャビネッ
トを平面に設置します

⑦入力端子
スピーカーケーブルで
アンプに接続します



スピーカーの設置

壁からの距離

壁やコーナーから1m以上離れた場所に設置するのが理想的です。また、家具などの反射物がスピーカーに接近しないように設置することをおすすめします。

アンプとの接続

本機の入力端子に接続を始める前に、必ずアンプなどの電源を切ってください。

接続について

市販の良質なスピーカーケーブルを必要最小限の長さでご使用ください。

本機の赤端子はプラス (+)、黒端子はマイナス (-) です。

接続する際は、アンプの取扱説明書も合わせて参照してください。

本機の入力端子は、スピーカーケーブルの絶縁被覆を10mm程度はがした芯線、または、バナナプラグで接続できます。

本機の特徴

芸術作品の枠を超えて音響作品へ昇華

このモデルの陶器製壺形キャビネットは、静岡県浜松市天竜区月にある遠州天龍焼の山口剛氏による作品です。

遠州天龍焼は、高い芸術性を持った作品として有名ですが、単一的な特徴の作品作りに拘らず、色々な材料や手法を駆使して幅広い表現力を持つ作品が作られています。つまり芸術性と論理性を兼ね添えた陶芸家と言えます。

従来、手作り品では不可能と思われていた歪みの無い平面や高い寸法精度が、粘土や釉薬の選定は勿論のこと、収縮率を各部毎に1%の精度でコントロールすることによって実現されています。

尚、本モデルは手作り品の為、作品毎の表面の色調や表情に若干の違いが生じる場合があります。また、ご注文頂いてから納品までに時間をいただく場合がありますことをご了承ください。

陶器製壺形キャビネットによる素直な中低音と高い解像力

一般的な直方体のキャビネットは、内部の平行面による定在波や、外形の広い平面や角部による音響負荷や回折効果の発生があり、中低音域の音圧の乱れや音色の濁りを生じさせています。これらの要因が少なく、最も素直な特性が得られるキャビネットが壺形であることが知られており、陶器を採用することにより、この理想的な壺形キャビネットを実現しました。

また、壺形キャビネットの開口部とバッフル板を強固に接着することにより、壺単体での共振を完璧に抑え込み、濁りの無い高い解像度と良好な音質を実現しました。

更には、キャビネット内部表面を適度に荒らすことにより、高い吸音力を持たせ、吸音材の使用を最小限とし、明るく圧迫感の無い再生音を得ています。

サイズを超えた音響特性

臨場感や爽快感などの無指向性ならではの良さは勿論のこと、素直に伸びているながらエネルギー感のある高域や、8cmフルレンジとは思えない豊で切れのある低域が得られています。

更に、全ての再生音はバッフルとディフューザーの間の狭いエリアから発せられており、スピーカーの後ろにピタット定位する実在感ある再生音も魅力の一つです。

VP031の芸術的なフォルムは、斬新な音響的アイデアによって構築されています。

1. 振動板とポートの協調低音放出

VP031のバスレフポートの共振周波数は通常よりも少し低い周波数に設定され、更にポートの位置はスピーカーユニットの振動板の近くに配置されています。これにより、低音域の空気振動が互いに影響し合い、高いバスレフ効果が得られ、50Hzまで伸びた理想的な低音特性を得ています。

一般的なスピーカーユニットでは、共振周波数を低く設定しすぎると、締まりのない低音になるばかりでなく、中高音の歪も増えてきます。PV031に使用しているスピーカーユニットは、大振幅でも歪みにくく設計されており、高い低音再生能力を有しています。PV031はこのユニットの持つ能力をフルに引き出したスピーカーシステムだと言うことが出来ます。

2. スリット・バスレフ

PV031には開口面積の小さいポートを4本搭載しています。ポート容積に対する空気接触面積を多くしてポート内の空気移動に制動力を付加しています。その結果、振動板自体にも制動が働き、バスレフスピーカーによくあるボン付き音を抑えています。

この方式は、スリット・バスレフとしてTom's labのハイエンド無指向性スピーカー RP123、RP082、RP062にも採用されている方式です。

3. ホーン効果を持ったディフューザー

ディフューザーの役割は音の拡散と空気の流れの制御。口径8cmのフルレンジ・スピーカー用ディフューザーとして期待される拡散効果は、約2kHz以上の高音部で、その効果を得る為には比較的小口径のディフューザーが良いのですが、PV031のディフューザーはφ140mmと大きく設定されています。

その理由は、音の拡散や空気の流れの制御だけではなく、ディフューザーの反射面に特殊なカーブを採用し、振動板及びバッフルとの間でホーンを形成してホーン効果を得ています。その結果、振動板の空振りが抑えられ、音響変換効率が高くエネルギー感があり、且つ制動が効いた音を実現しました。



商品仕様

総合仕様	再生周波数帯域	50Hz～15kHz
	指向角度	完全360°
	許容入力(Mus.)	25W
	定格インピーダンス	8Ω
	出力音圧レベル	80dB
	トータル寸法	Φ220×338mm
	トータル質量	4.2kg
	入力端子	バナナプラグ対応
エンクロージャー	形式	陶器製壺形4バスレフポート
	ポート共振周波数	60Hz
	フィニッシュ	黒色還元釉
スピーカーユニット	形式	3"防磁型フルレンジ
	ダイアフラム	ポリプロピレンコーン
ディフューザー	材質	ブナ無垢
	フィニッシュ	マホガニー色透明ウレタン塗装光沢仕上げ
ポスト	材質	快削黄銅
	フィニッシュ	黒ニッケルメッキ
スピーカースタンド	材質	パイン集成材
	フィニッシュ	マホガニー色透明ウレタン塗装光沢仕上げ

同梱品	取扱説明書、保証書
-----	-----------

サービス

本製品の修理の依頼や商品仕様等に関するお問い合わせは、お買い上げ店、またはTom's lab までご連絡ください。

■保証期間

お買い上げ日から1年間です。

■保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

■修理料金の内訳：技術料 部品代 出張料

Tom's lab
〒434-0034
浜松市浜北区高畑2-3
TEL : 090-5115-5497
E-MAIL : info@tomslab.jp
HP : <http://www.tomslab.jp/>